

デマンドタクシー実験運行の 現状と今後の方向性について

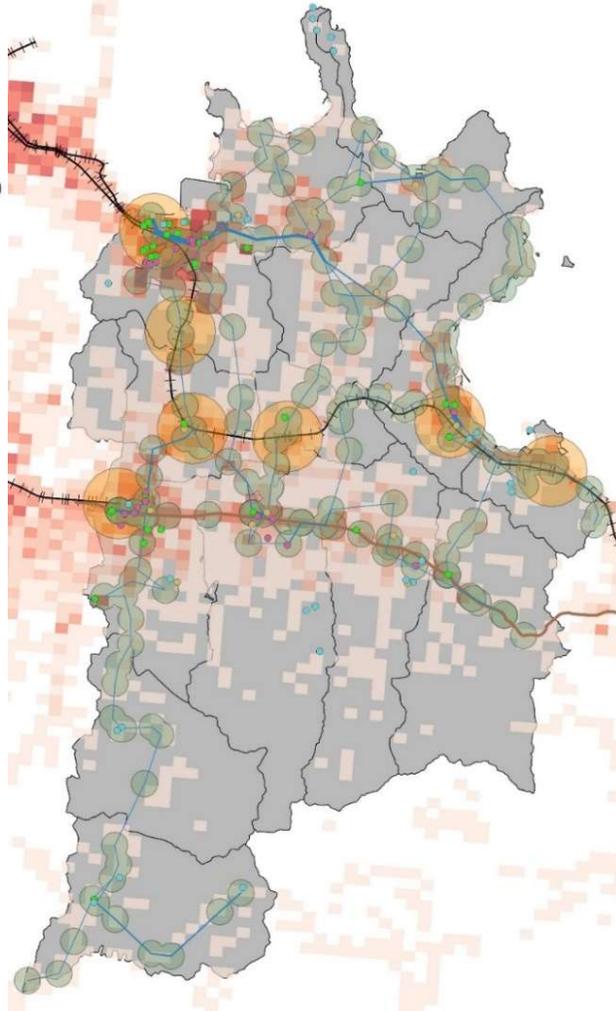
R6.3.21

デマンドタクシー実験運行の現状

(1) デマンドタクシー実験運行開始までの経緯

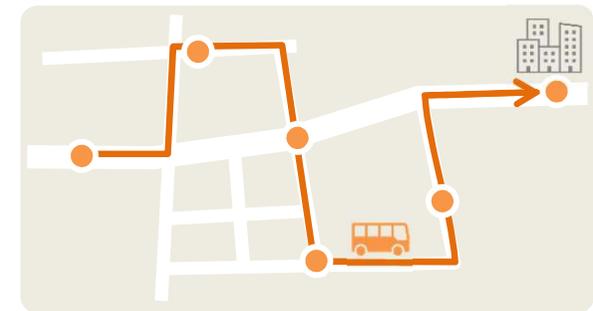
- ・さぬき市は、長尾街道や県道10号沿線、鴨部川沿岸を中心に、平野部に分散的に居住が見られる
- ・分散的な居住形態に高齢化が進行する中、定時定路線型のコミュニティバスのみで対応してきた結果、「運行時刻の正確さ」「自宅や目的地からバス停までの距離」「目的地までの所要時間」等を中心に不満を招いていた
- ・一方、徳島文理大学香川キャンパスの市外移転（R7.4.1）や県立高校の統廃合が発表され、通学利用の変化を推察
- ・これらを踏まえ、少量輸送型で機動性の高いジャンボタクシー車両によるデマンド型乗合タクシーの導入効果を検証するため、令和5年12月4日から、一部地域でデマンドタクシーの実験運行を開始

▼さぬき市の公共交通網(駅800m圏、バス停300m圏を表示)と人口分布



＜令和3年4月1日以降に届いたコミバスに関する意見＞ ～市長との意見交換会等～

- ・いろんなところを回るから、目的地まで時間がかかり乗っているのがしんどい
- ・利用がめったにないバス停があり、何のために遠回りをしているのかとってしまう
- ・便が少ない、行きはいいが帰りの便がない
- ・バス停から遠い方は利用をあきらめている 等



(2) デマンドタクシー実験運行の概要

デマンドタクシー乗降ポイント 下記の乗降ポイントでのみ乗り降りできます。

- 乗降ポイント
 - コミュニティバス停留所
 - デマンドタクシー専用
- コミュニティバス路線
 - ②志度・鴨部・小田線
 - ⑥志度・鴨庄・興津線

既存のバス停に加え、デマンドタクシー専用の乗降ポイントでも乗り降りできます。今までバス停が遠くて利用しにくかった方もぜひご利用ください。



12/4 (月) 運行開始!

デマンドタクシー専用の乗降ポイントを計16か所追加し、今までバス停まで遠くて利用しにくかった人の利便性を向上



運行日 月～金 (土日祝日・12/29～1/3は運休)

時刻表

便	運行開始時刻	予約め切り
13時便	13:00	前日16:00までに予約
14時便	14:00	当日13:00までに予約
15時便	15:00	当日14:00までに予約
16時便	16:00	当日15:00までに予約

ご予約 月～金曜日の12:00～16:00の間に

☎050-3097-2059

へお電話ください。

土日祝日・12/29～1/3は受付休み
ご利用日の1週間前から予約できます。

12/1 (金) 受付開始!

デマンドタクシー専用の乗降ポイントは、この看板が目印

さぬき市 デマンドタクシー 乗降ポイント

志度1

志度図書館 北口

しどとしよかんさくや

要予約 ☎050-3097-2059

(3) デマンドタクシー実験運行開始前後の新旧比較

路線	項目	旧(R5.12.3以前)	新(R5.12.4以降)
②志度・鴨部・小田線 ⑥志度・鴨庄・興津線	便数	②～13時:3.5往復、13時～:1.5往復(計5.0往復) ⑥～13時:3.0往復、13時～:2.0往復(計5.0往復)	②～13時:3.5往復、13時～: 4.0往復(計7.5往復) ⑥～13時:3.0往復、13時～: 4.0往復(計7.0往復)
	運賃	<終日(コミュニティバス)> 1乗車200円(中学生以下100円)	<～13時(コミュニティバス)> 1乗車200円(中学生以下100円) <13時～(デマンドタクシー)> 1乗車300円(中学生以下200円)
	車両	ジャンボタクシー車両	ジャンボタクシー車両
	その他	<終日(コミュニティバス)> 決まった経路を決まった時刻に運行	<～13時(コミュニティバス)> 決まった経路を決まった時刻に運行 <13時～(デマンドタクシー)> 電話予約に応じて予約があった経路のみ運行 ※午後はデマンドタクシー以外に文理大生の通学専用シャトル便(文理大⇄JR志度駅)を授業時間に合わせて運行(12/4～4便、3/18～3便)
上記以外の5路線 ①志度・造田・多和線 ③志度・鴨部・寒川循環線 ④津田・大川・寒川線 ⑤小田・津田・鶴羽線 ⑦寒川・津田・志度線	便数	①計5.0往復 ③計4.5往復 ④計5.0往復 ⑤計4.5往復 ⑦計6.0往復	変更なし
	運賃	<終日(コミュニティバス)> 1乗車200円(中学生以下100円)	
	車両	①③④⑦バス車両 ⑤ジャンボタクシー車両)	
	その他	決まった経路を決まった時刻に運行	

(4) 主な周知活動

- 乗り方説明会の開催：デマンドの運行エリア内の会場（4か所）で計10回、参加者のべ30人
- 出前講座の実施：3団体
- 専用乗降ポイントがある12自治会は、自治会長と協議し、チラシ250枚、お試しチケット（無料券）141枚配布
出前講座参加者等含めると、合計配布枚数は、チラシ292枚（フリー取得除く）、お試しチケット171枚
- コミバス兼用の乗降ポイント（37か所）やコミバス車内で掲示周知
- 広報さぬき（12月号）、市HP、市営ケーブルテレビで周知
- 新聞（四国新聞、朝日新聞）やテレビ（西日本放送）で報道

乗り方説明会（小田ふれあいプラザ）



コミバスのバス停に貼り付けた案内(11月14日～)

＜令和5年12月4日（月）スタート＞

「②志度・鴨部・小田線」と「⑥志度・鴨庄・興津線」の13時以降は
デマンドタクシーとして運行します（区域乗合実証実験運行）

さぬき市では、12月4日から、「利用人数の少ない13時以降のコミュニティバス」を「デマンドタクシー」に変化させて運行エリアを広げる実証実験を行います。公共交通を、より多くの方にご利用いただける環境づくりを効率的に推進するため、ご理解・ご協力をお願いします。

始発から12:59まで	13:00から17:00まで
さぬき市コミュニティバス ②志度・鴨部・小田線 1便～7便・通常運行 さぬき市コミュニティバス ⑥志度・鴨庄・興津線 1便～6便・通常運行	さぬき市デマンドタクシー【事前予約制】 時刻表:13時発、14時発、15時発、16時発 ★ご予約のあった乗降ポイントのみをまわります ★平日のみの運行です(土日祝・12/29～1/3は運休) ★予約受付:コールセンター(☎050-3097-2059)のみ ★発車時刻の1時間前(13時発は前日16時)までに要予約

※その他の路線（②⑥以外の5路線）に変更はありません

★乗降ポイントや予約方法など詳しくは、広報さぬき12月号 か 市ホームページ まで
 ★デマンドタクシー乗り方説明会を開催します（参加申込不要、プレゼントあり）

日程 令和5年11月22日（水）・11月28日（火）【2日間】
 9:30～・10:40～市役所本庁舎1階市民ホール、13:30～小田ふれあいプラザ、
 14:40～鴨部ふれあいプラザ、16:00～生涯学習館 ※説明会は1時間程度です
 【問】さぬき市都市整備課 ☎087-894-1113

「②志度・鴨部・小田線」と「⑥志度・鴨庄・興津線」の13時以降は
デマンドタクシーとして運行します（区域乗合実験運行）
【実験運行期間：令和5年12月4日～令和7年3月31日】



※その他の路線（②⑥以外の5路線）に変更はありません

予約・変更(キャンセル)・運行状況の質問(予約時間に車が来ない等)は
お気軽に、「コールセンター」までお電話ください

コールセンター ☎050-3097-2059

※平日の正午～16時までにお電話ください(土日祝・12/29～1/3は休み)



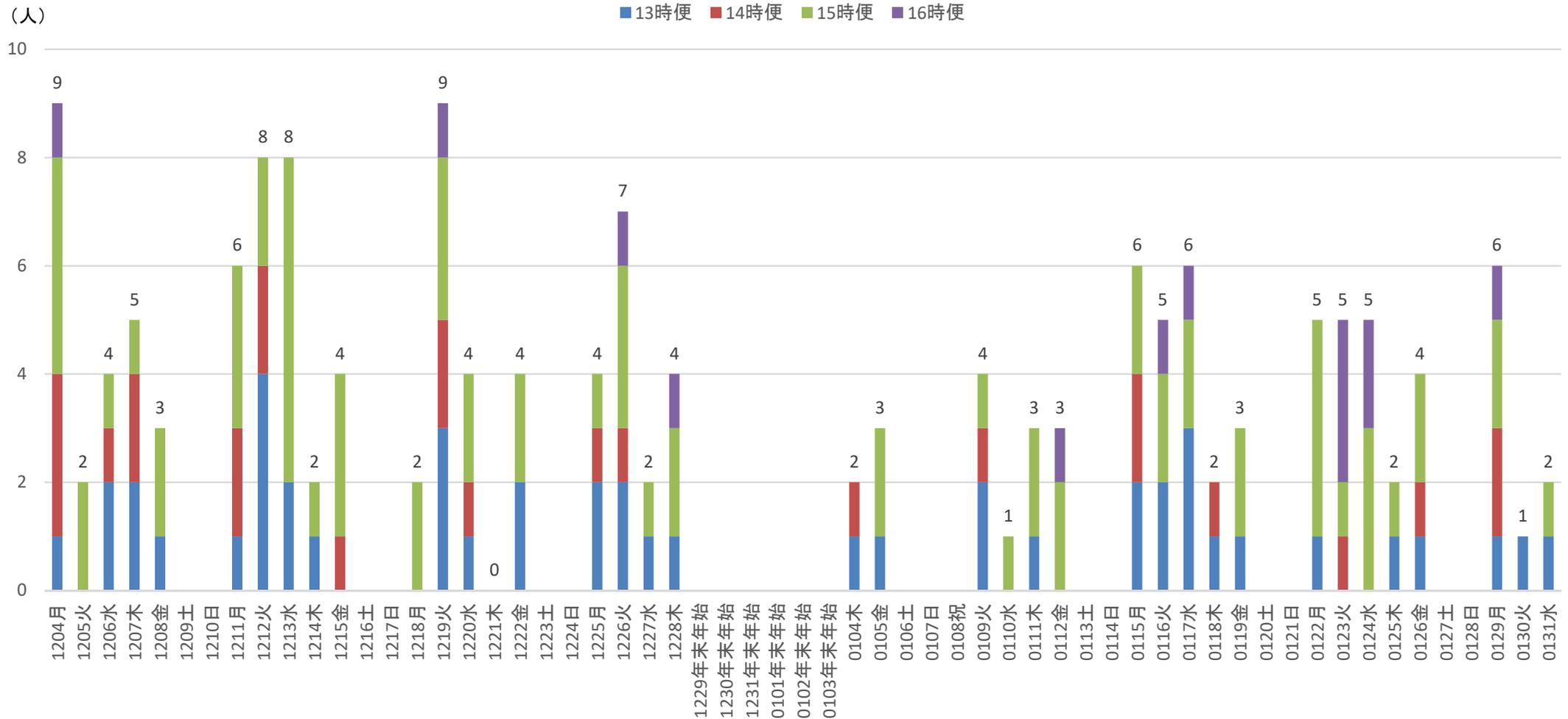
コミバスのバス停に貼り付けた案内(12月1日～)

(5) 利用実態の概要

種別		項目	12月	1月	備考	参考:2月
午前便	コミバス	のべ利用者数(一般)	508人	396人		417人
		のべ利用者数(文理大関係)	193人	221人		134人
午後便	デマンドタクシー	運行日数	19日	19日	12/21:利用者ゼロ	19日 2/15:利用者ゼロ
		のべ利用者数	87人	68人		72人
		実利用者数	34人	24人		23人
		乗合率	56.3%	35.7%	乗合運行回数/乗客有運行回数 ※乗合運行:2以上の予約が組み合わさった運行	40.0%
		お試しチケット使用枚数	13枚	7枚	計171枚配布(使用期限R6.1/31)	—
		デマンド専用乗降ポイントでの乗降数	5回	8回	デマンド専用乗降ポイント数:16	12回
	コミバスバス停兼用乗降ポイントでの乗降数	169回	128回		132回	
	文 理 大 学 支 援 専 用	のべ利用者数	237人	261人	12/4~1日4便 文理大構内・JR志度駅直行便 サポート車両で運行	84人

(6) 利用者数の推移（午後のデマンド便のみ）

- 運行日の平均利用者数は4.08人／日
- 最大利用者数は9人／日（12/4月、12/19火）、最小利用者数は0人／日（12/21木）
- 15時便の利用が他の便に比べて多い



(7) 利用者数の対前年度比較

- デマンド化した午後の便は、12月・1月ともに対前年比で利用者は減少（元々午後の一般利用者は少ないが、対前年度比でおおよそ半減）
- 12月は午後の利用が減少した分、午前中の定時定路線便に少しシフトした傾向が見られたが、1月は午前（定時定路線便）・午後（デマンド便）ともに減少

12月（対象運行日数 R4:18日、R5:19日）

合計	R4午前	R4午後	R5午前	R5午後
一般	459人	153人	508人	87人
文理大生	194人	130人	193人	237人

1月（対象運行日数 R4:19日、R5:19日）

合計	R4午前	R4午後	R5午前	R5午後
一般	459人	133人	396人	68人
文理大生	190人	89人	221人	261人

R4年度

※全便
定時定路線

運行時間帯	利用者数（人/日）		
	一般	文理大生	合計
午前便	25.5	10.8	36.3
午後便	8.5	7.2	15.7
合計	34.0	18.0	52.0

1月

運行時間帯	利用者数（人/日）		
	一般	文理大生	合計
午前便	24.2	10.0	34.2
午後便	7.0	4.7	11.7
合計	31.2	14.7	45.8

R5年度

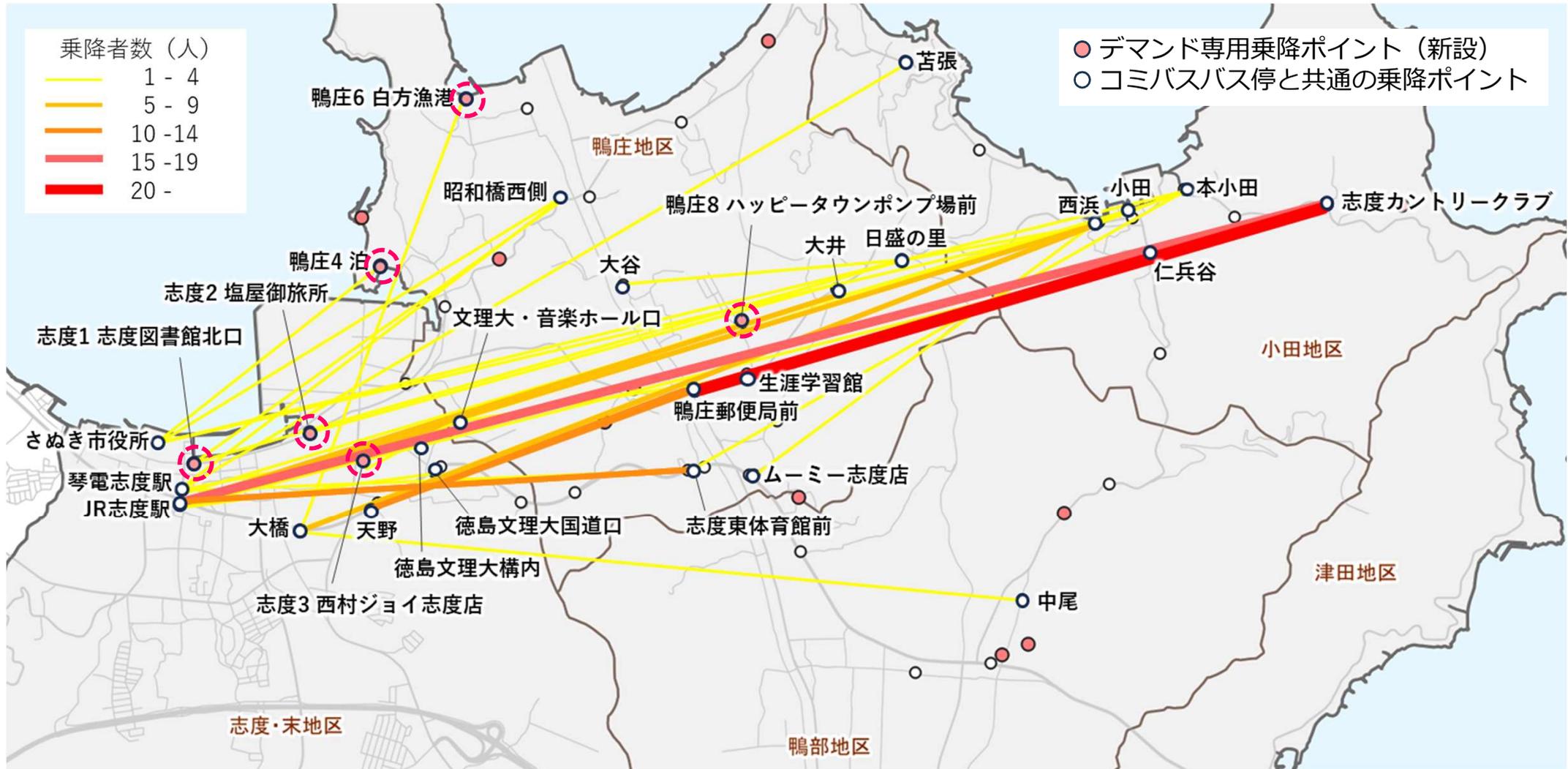
※午後
デマンド化後

運行時間帯	利用者数（人/日）		
	一般	文理大生	合計
午前便	26.7	10.2	36.9
午後便 （デマンド+シャトル便）	4.6	12.5	17.1
合計	31.3	22.6	53.9

運行時間帯	利用者数（人/日）		
	一般	文理大生	合計
午前便	20.8	11.6	32.5
午後便 （デマンド+シャトル便）	3.6	13.7	17.3
合計	24.4	25.4	49.8

(8) 利用者の乗降傾向

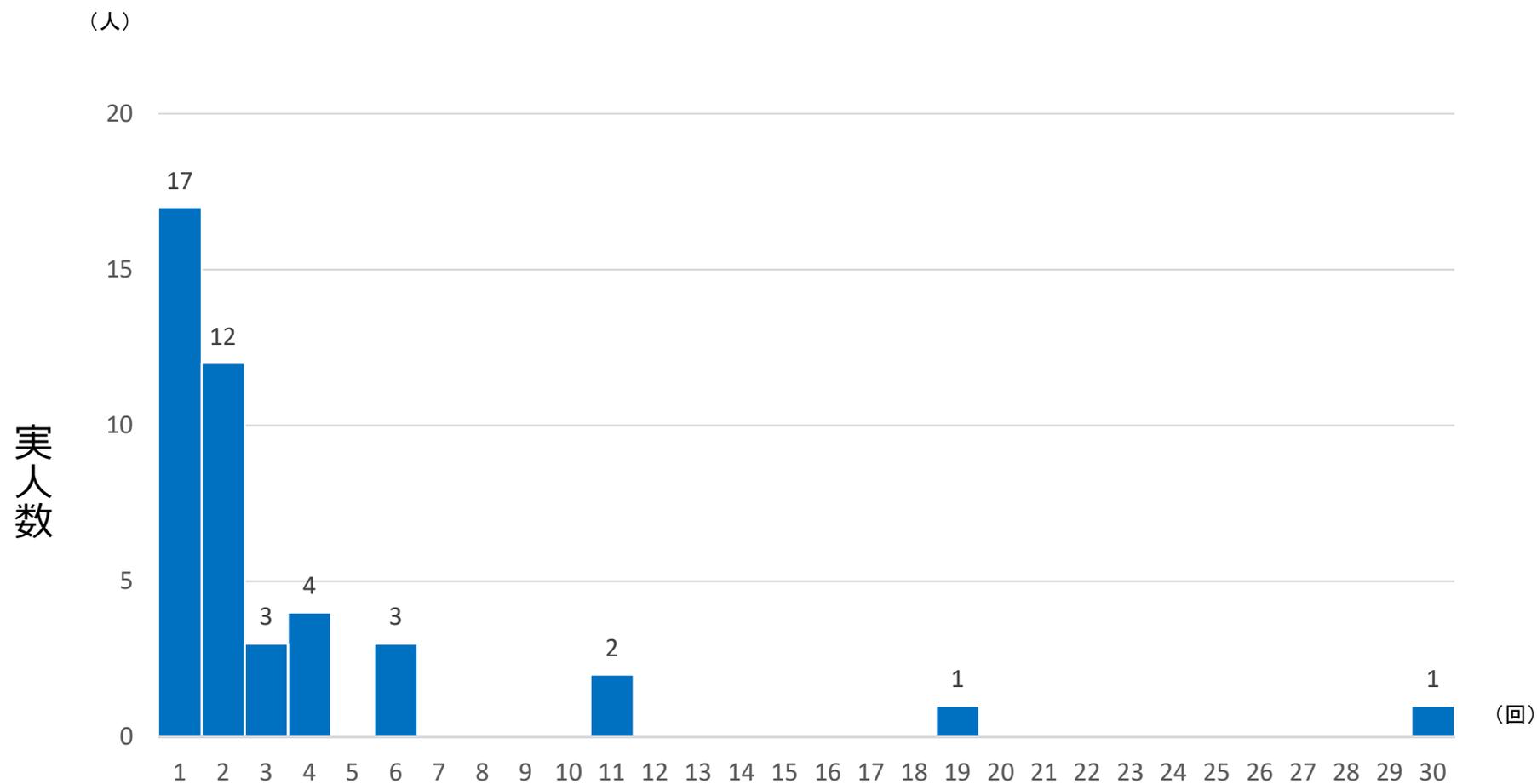
- 志度CC～鴨庄郵便局前、志度CC～JR志度駅の利用が多い（同じ人が繰り返し利用）
- デマンド専用追加した乗降ポイントは、まだ利用が少ない



集計対象期間：2023年12月～2024年1月

(9) 個人単位ののべ利用回数（2か月間）

- 実人数で43人が利用（施設による予約も1個人とカウントした場合）
- うち1回のみ利用が17人であり、4回以上利用した人は11人



集計対象期間：2023年12月～2024年1月

利用者アンケート

(1) 利用者アンケートの実施概要

- 1月下旬～2月下旬にデマンドタクシーの利用者に対して利用者アンケートを実施し、14人から回答を得た

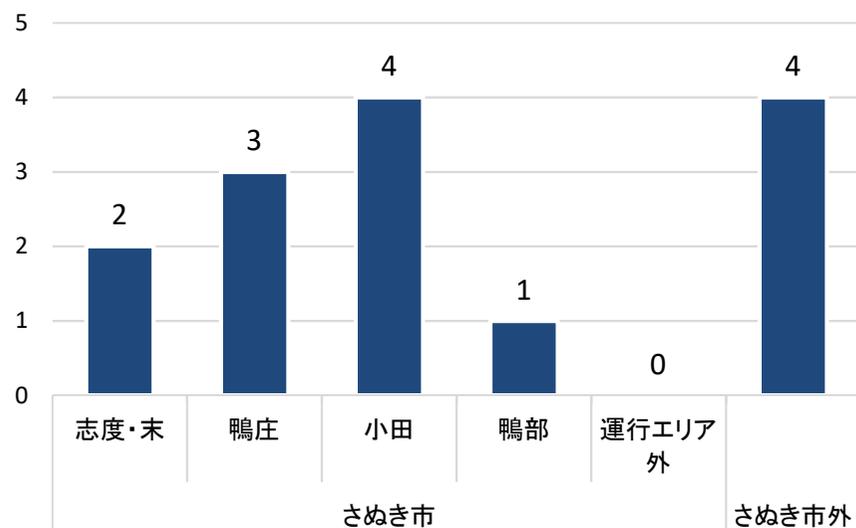
利用者アンケートの概要

項目	内容
対象	デマンドタクシーの利用者
調査方法	運転士が車内で調査票を配布 車内で直接回収、市役所等の窓口で直接回収、郵送回収のいずれかで回収
調査項目	属性、利用状況（利用回数、主な利用目的、具体的な行先、乗り継ぎの有無）、満足度、具体的不満内容 等
実施時期	R6.1.17～R6.2.13（最終回収日）
回収状況	14部

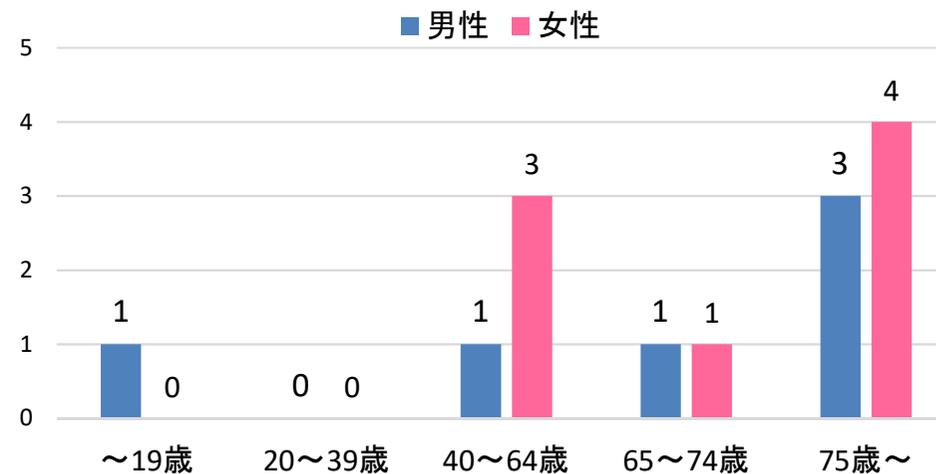
(2) 利用者アンケート結果（属性）

- ・ デマンドタクシーの運行エリア内の居住者が10人、さぬき市外に居住する人が4人（高松市2人、県外2人）
- ・ 75歳以上の方が半数以上を占める

回答者の居住地



回答者の年齢



(3) 利用者アンケート結果（コミュニティバスの利用経験とデマンドの利用回数）

- ・デマンドタクシーの利用者の多くは、以前からコミュニティバスを利用していた人
- ・一部、コミュニティバスを利用していなかったがデマンドタクシーを利用した人もいる

コミュニティバスの利用経験とデマンドの利用回数

デマンドの 利用回数	以前からのコミバス利用有無			計
	利用なし	利用あり	無回答	
1回	 1	 3		4
2～4回	 1	 3		4
5～8回		 3	 1	4
9～20回		 1		1
21回～		 1		1
計	2	11	1	14

(4) 利用者アンケート結果（主な利用目的、具体的な行先）

- ・回答者は、主な利用目的として通院や買い物、知人訪問等を挙げている
- ・目的地の多くは、デマンドタクシーの運行エリア内の施設になっているが、さぬき市民病院への通院に利用する人もいる（乗り継ぎ利用）

主な利用目的

	回答	割合
買い物	5	35.7%
通院	6	42.9%
通勤	1	7.1%
通学		0.0%
習い事		0.0%
知人訪問	4	28.6%
その他	4	28.6%
n	14	

<具体的な行先>

買い物

- ・ムーミー
- ・マルナカ
- ・コープ

通院

- ・さぬき市民病院
- ・江崎医院

その他

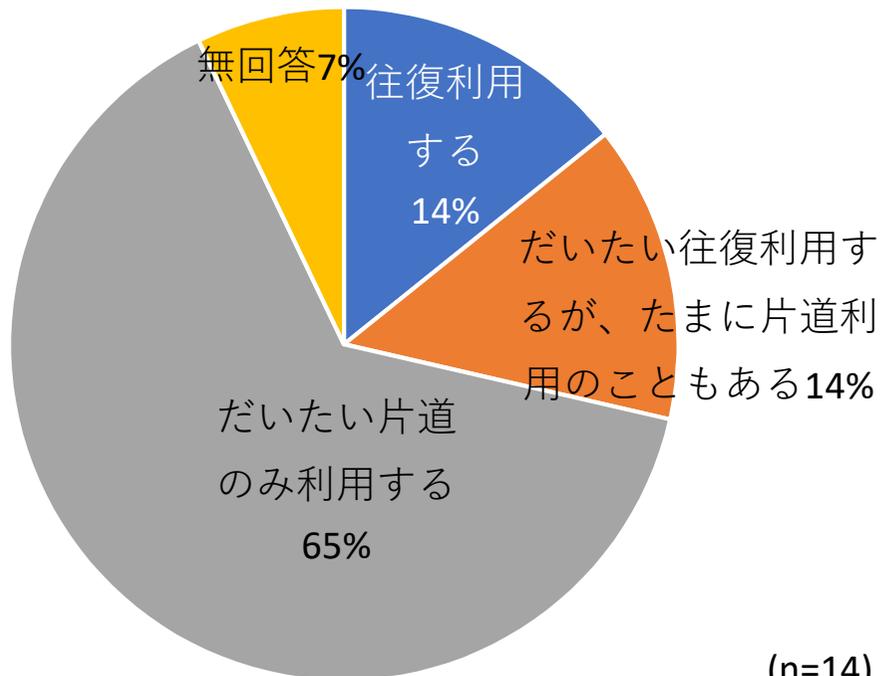
- ・志度CC
- ・農作業

※複数回答可

(5) 利用者アンケート結果（往復利用の有無、その際の他の移動手段）

- ・回答者の多くが片道のみ利用となっており、往復利用する人は少ない
- ・片道利用の場合のもう一方の移動手段は、コミュニティバスやタクシー、家族や知人による送迎が挙げられている

往復利用の有無



片道利用の場合の他の移動手段

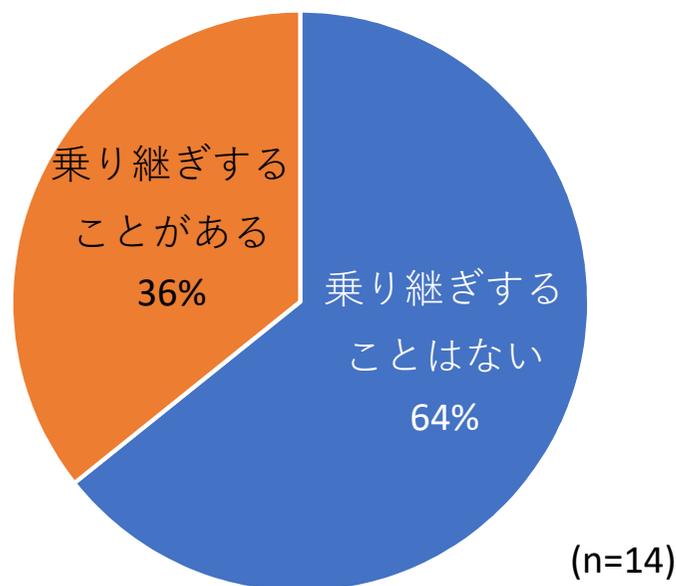
	回答	割合
タクシー	5	45.5%
家族や知人による送迎	3	27.3%
コミュニティバス	6	54.5%
その他	1	9.1%
n	11	

※複数回答可

(6) 利用者アンケート結果（乗り継ぎ利用の有無）

- ・回答者のうち、デマンドタクシーと他の移動手段を乗り継ぐことがあるという人は1/3程度
- ・乗り継ぐ移動手段として、コミュニティバスや鉄道が挙げられている

乗り継ぎ利用の有無



乗り継ぐ移動手段

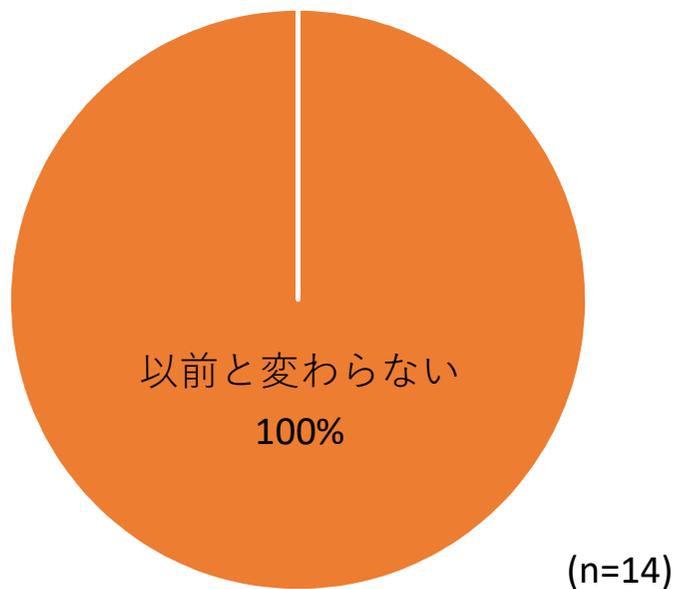
	回答	割合
鉄道	2	50.0%
コミュニティバス	3	75.0%
タクシー		0.0%
その他		0.0%
n	4	

※複数回答可

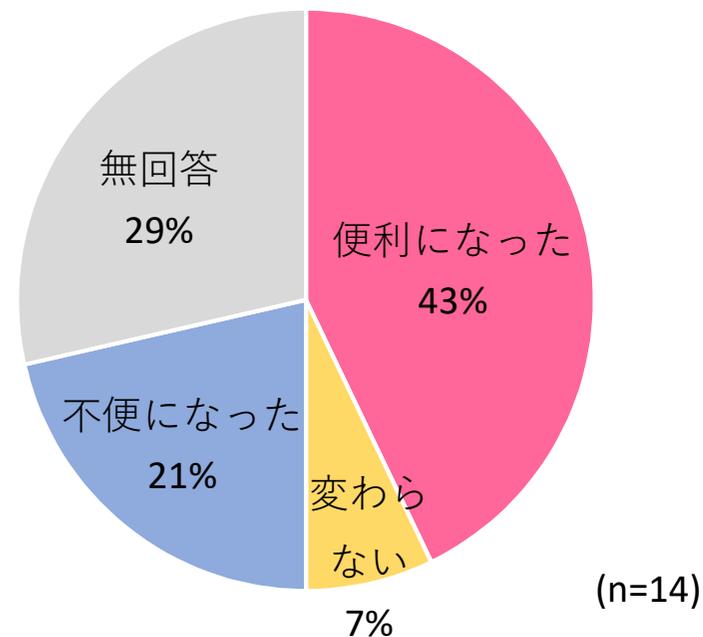
(7) 利用者アンケート結果（実験運行開始による外出の増加、利便性向上）

- ・ 外出回数は全員が以前と変わらないと回答（外出回数が増えるには至らず）
- ・ 利便性の変化については、午後にデマンドタクシーが運行するようになり、回答者の約4割が便利になったと回答している一方、約2割が不便になったと回答

実験運行開始による外出の増加

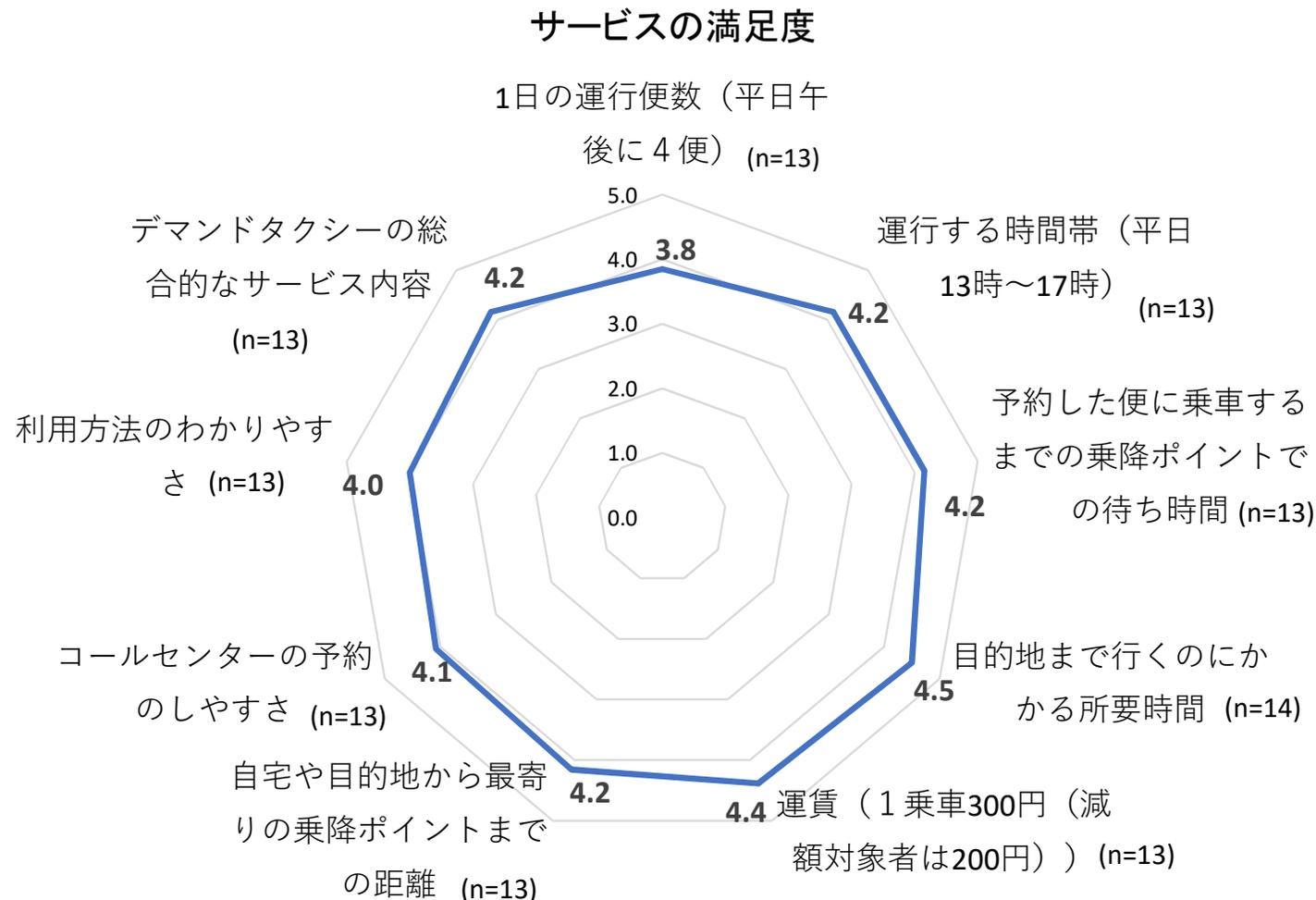


実験運行開始による利便性の増加



(8) 利用者アンケート結果（サービスの満足度、不満の具体的内容等）

- ・ 利用者の満足度は概ね高い
- ・ 1日の運行便数（3.8pt）や利用方法のわかりやすさ（4.0pt）が他の項目と比べるとやや満足度が低い
- ・ 13時便の当日予約化への要望が複数挙がっている（現在は前日までに要予約）



<不満の具体的内容>

- ・ 13時便を当日予約にしてほしい（3件）
- ・ 土日は運行がないので不便（1件）
- ・ 17時便、18時便、19時便がほしい（1件）

1.不満足 2.やや不満足 3.どちらでもない 4.やや満足 5.満足

未利用者アンケート

(1) 未利用者アンケートの実施概要

- 1月下旬～2月上旬にデマンドタクシーの未利用者に対して未利用者アンケートを実施し、26人から回答を得た

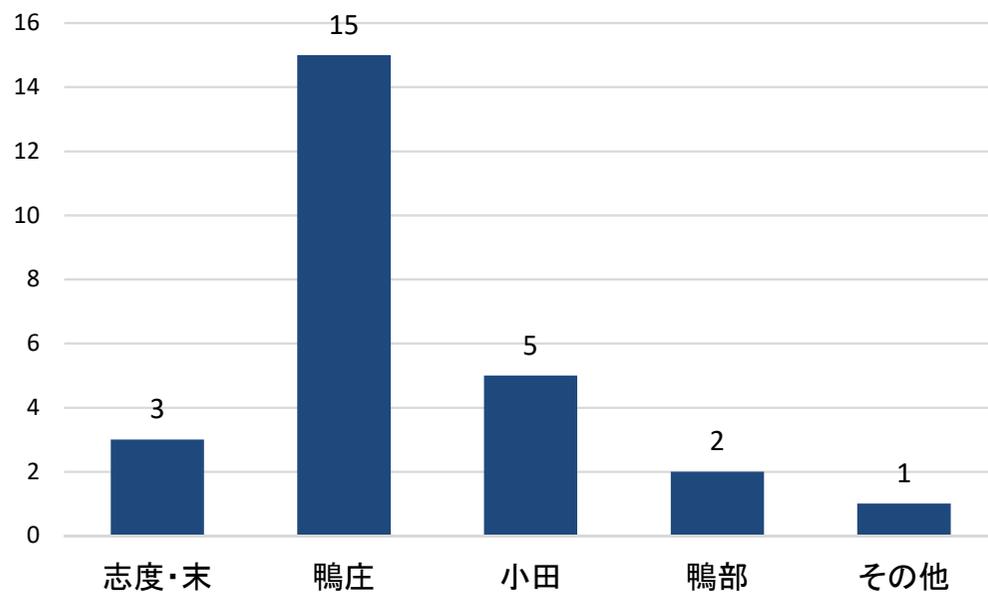
未利用者アンケートの概要

項目	内容
対象	①デマンドタクシー専用乗降ポイント周辺住民 ②コミュニティバス利用者で、デマンドタクシー未利用者
調査方法	<p>◆配布</p> <p>①各戸調査 （室沖・泊・白方自治会の各自治会長が、デマンドタクシーを利用しそうで未利用の自治会内住民各5人にアンケート用紙を配布）</p> <p>②コミバス車内配布及び都市整備課窓口配布 （都市整備課職員が路線②・⑥に乗り込み、デマンドタクシー未利用者にアンケート用紙を配布、都市整備課窓口での回数乗車券販売時等にデマンドタクシー未利用者にアンケート用紙を配布）</p> <p>◆回収</p> <p>①②ともに、配布者、コミバス車内または出張所で回収</p>
調査項目	属性、認知状況、利用しない理由、今後の利用予定、日常のおでかけの状況、困りごと等
実施時期	R6.1.18～R6.2.6（最終回収日）
回収状況	26部

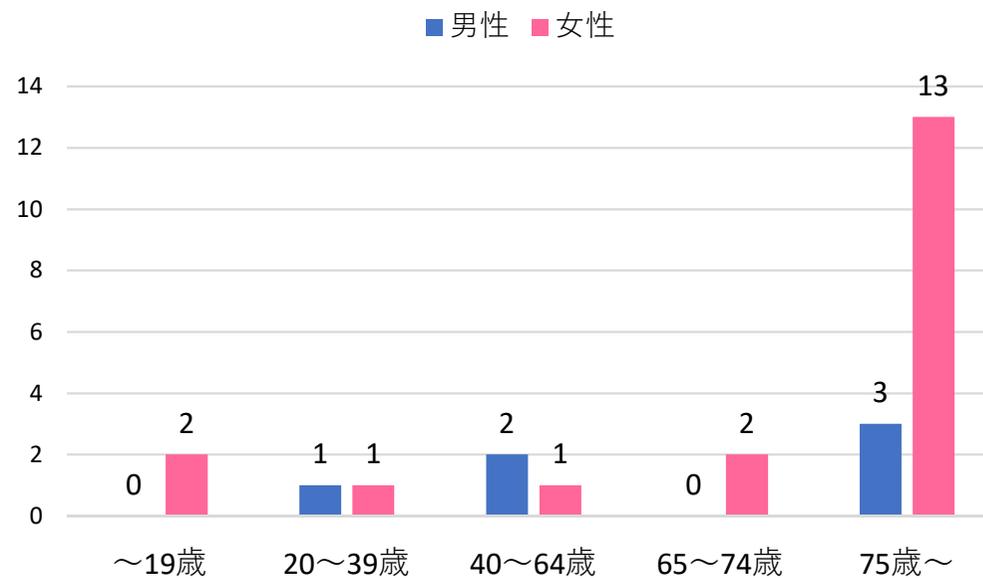
(2) 未利用者アンケート結果（属性）

- ・居住地は鴨庄の人が半数以上を占める

回答者の居住地



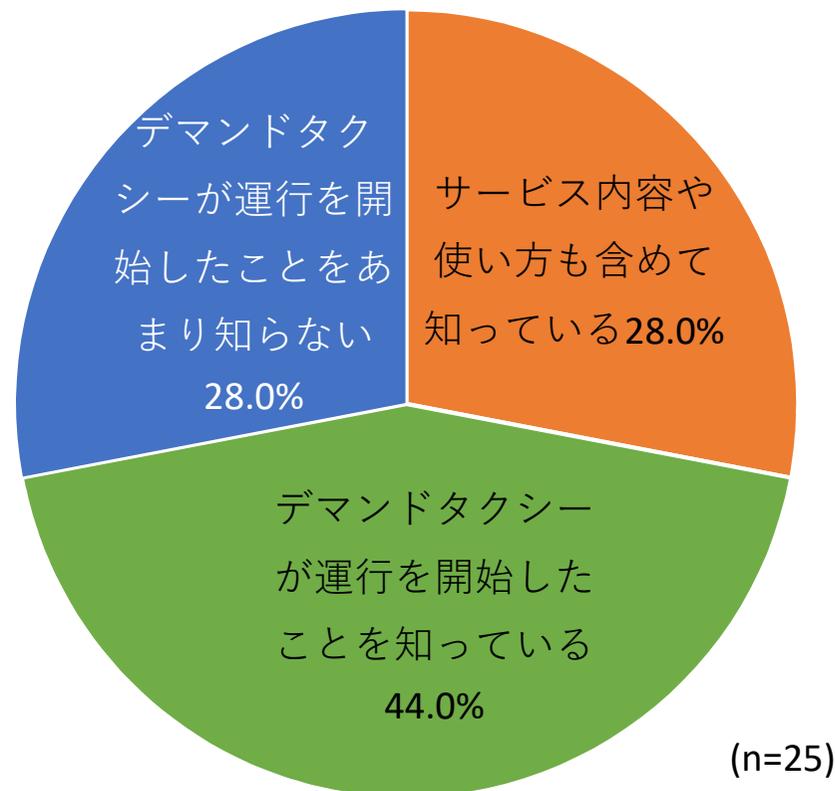
回答者の性別



(3) 未利用者アンケート結果（認知状況）

- ・ サービス内容や使い方も含めて知っている人は約3割
- ・ 約4割は運行を開始したことを知っている程度
- ・ 残りの約3割は運行を開始したことをあまり知らない

デマンドタクシーの認知状況



(4) 未利用者アンケート結果（利用しない理由）

- ・未利用者の利用しない理由は「コミュニティバスで十分だから（69%）」が最も多く、次いで「電話予約がおっくうだから（31%）」「自動車・自転車等により自分で移動できるから（31%）」「電話予約などを含め使い方がわからないから（27%）」
- ・他の移動手段で満足している人は利用する可能性は低いが、「電話予約がおっくうだから」「電話予約などを含め使い方がわからないから」は、対策により利用につながる可能性あり

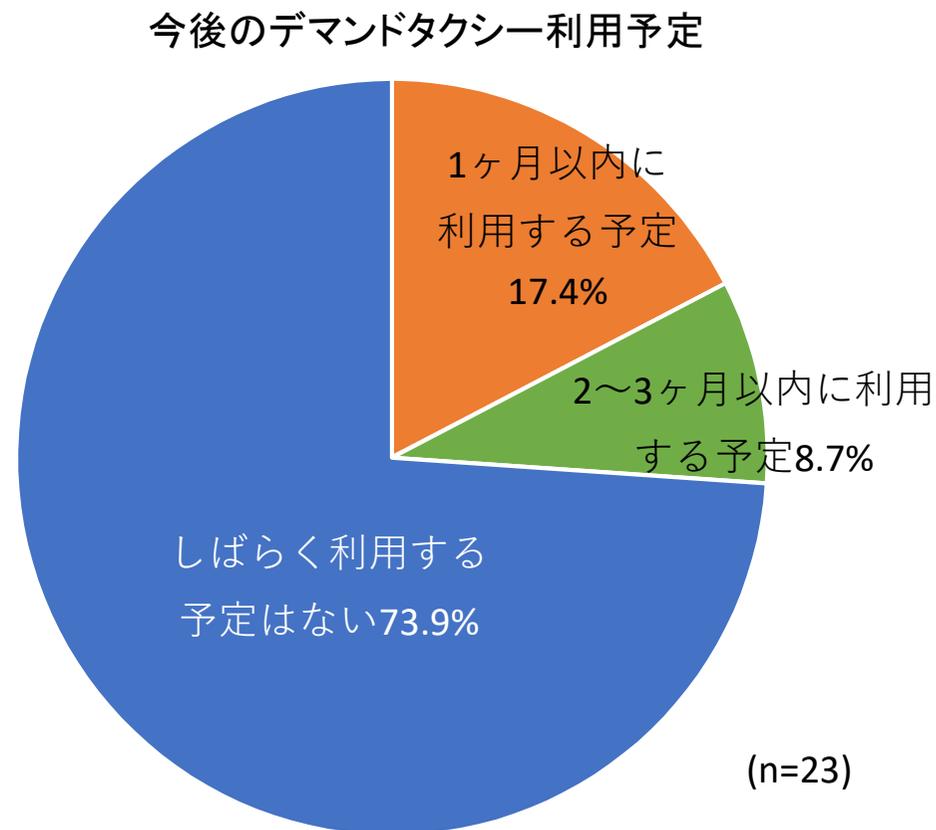
デマンドタクシーを利用しない理由

回答内容	回答数	回答率
自動車・自転車等により自分で移動できるから	8	30.8%
送迎を頼める人がいるから	5	19.2%
コミュニティバスで十分だから	18	69.2%
あまり外出をしないから	2	7.7%
電話予約などを含め使い方がわからないから	7	26.9%
電話予約がおっくうだから	8	30.8%
利用したい時間帯に運行していないから	3	11.5%
なんとなく不安だから	2	7.7%
自宅の近くにのりばがないから	3	11.5%
移動したい目的地の近くにのりばがないから	1	3.8%
足腰が不自由等の身体的な理由で利用しにくいから	0	0.0%
運賃が高いから	0	0.0%
その他	6	23.1%
n	26	-

※複数回答可

(5) 未利用者アンケート結果（今後の利用予定）

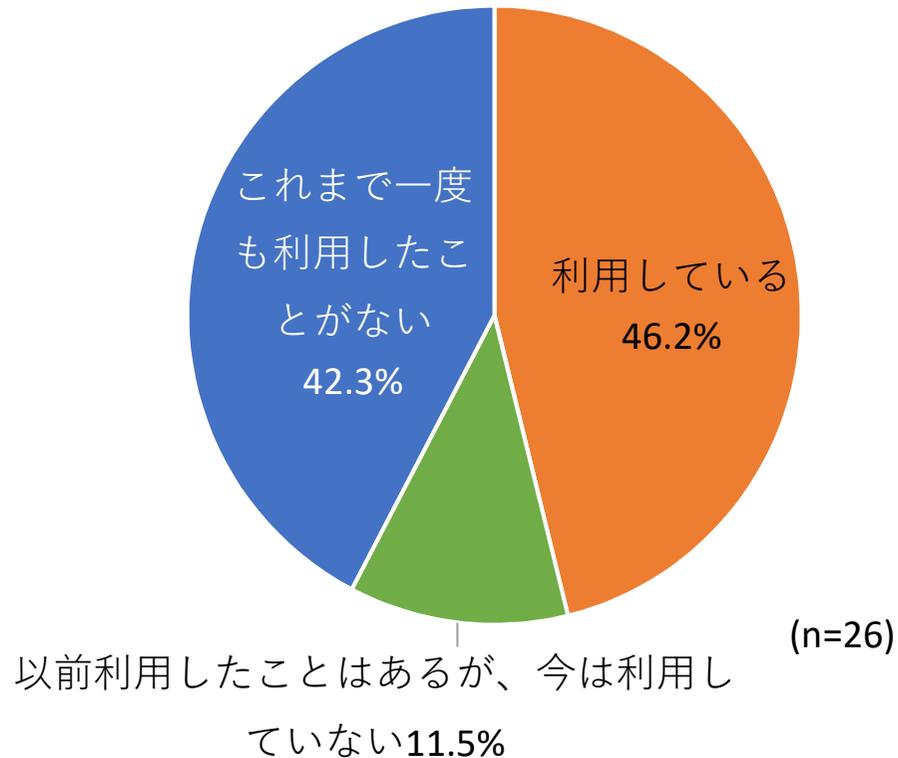
- ・ 近々利用する予定の人は回答者の約1/4
- ・ 残りの約3/4はしばらく利用する予定なし



(6) 未利用者アンケート結果（コミュニティバスの利用状況）

- ・ 回答者の約5割はコミュニティバスを利用しており、約1割は以前利用していた
- ・ 一方で約4割はこれまでコミュニティバスも利用したことがないと回答

さぬき市コミュニティバスの利用有無



(7) 未利用者アンケート結果（日常のおでかけに関する困りごと等）

- ・ 自宅や目的地の近くにバス停や乗降ポイントがなく、利用しにくいという意見が挙がっている
- ・ 午前中や土曜日に運行してほしいという意見が挙がっている

日常のおでかけに関する困りごと等

利用したいのですが、バス停が遠すぎて利用しずらいです。

令和6年1月22日に免許証を返納する。これから乗ることもあると思う。

コミュニティバスを利用しているが帰りのバスがない。コミュニティバス路線にはずれている所は行きづらい。

一度電話したが、受付時間が間に合わず予約できなかった。予約時間を長くして欲しい。

土曜日でも利用したいので運行してほしい。もう少し朝、早い便も作ってほしい。

デマンドタクシーも午前中動かすことできませんか？

足腰が弱ってきて公共交通は利用しづらい。

土曜日の午前中に運行してほしい。

サービス供給側の声

(1) 運行事業者（地元タクシー事業者）の声

① 運行事業者から見た問題点・課題

- ・まだ特定の利用者しか利用していない。もっと広く知ってもらって利用者を増やす必要がある。
- ・住民が利用方法をよくわかっていない可能性がある。
- ・到着時刻を指定できないことが影響しているのか、JRや琴電に乗り継ぐ人が利用していない。
- ・携帯電話を持っていない人は予約をしにくい。耳が聞こえにくい人も予約電話をしにくい。

② その他

- ・コミュニティバスでは、利用者がいなくても路線をフルに走る必要があったが、デマンドでは予約があった区間のみ運行すればよいので、乗務員の運行の負担軽減になっている。
- ・自社のタクシー事業のエリアと重複するが、今時点ではまだデマンドの良し悪しが見えておらず、評価するには早い。もう少し実験運行の様子を見る必要がある。
- ・乗務員によるタブレット端末の操作（予約内容の確認等）は問題なくできている。

(2) コールセンター運営会社の声

① コールセンター運営会社から見た問題点・課題

- ・利用者が固定化されている傾向があるので、まずは使ったことがない人に一度使っていただく機会をつくる必要がある。
- ・「予約締切が1時間前なので締切が早い。もっとギリギリまで予約受付してほしい。」という声がある。
- ・“〇時便”の概念がコミバスと考え方が違うので、少し理解するまでに時間がかかる。今までコミバスに乗っていた人は、例えば志度駅を00分に出るなど出発と時間がセットになっているが、デマンドの場合、00分の時点で予約された場所にいるというのが理解しにくい。

② その他

- ・医療機関等の施設が代理予約できるようにすれば利用が増える可能性もある（例えば、運行エリア内のひもりの里診療所等）。
- ・鉄道の時刻に合わせて駅に着くような設定は、仕組みとしてはできるが、その分輸送効率が悪化する恐れがある。
- ・例えば、高齢者サロン等と連携した体験乗車会などを実施してはどうか。
- ・乗降ポイントはもう少し多くしてもよいと思う。

中間評価と直近の課題、対応方針

(1) 実験運行の目的を踏まえた評価の視点と中間評価結果

評価項目	評価方法	中間評価結果
① デマンド化することで既存停留所から離れた地区の人も使えるようになり、利用可能な便数が増加し、全体的に利用者が増えたか？	<ul style="list-style-type: none"> 既存のコミバス路線②⑥の13時以降の便の合計利用者数（令和4年度同月と比較し、文理大利用者を除く）より増加したかどうかを評価（利用実績データから評価） 	<ul style="list-style-type: none"> デマンド化により既存停留所から離れた場所に乗降ポイントを設定し、利用可能な便数が増加し、利用者は利用しやすくなった 一方、開始数か月でまだ利用方法等が周知されておらず、一部の利用者しか利用していない 上記の理由もあり、デマンドの利用者数は見直し前のコミバス時より少ない
② 利用者は、予約が必要となり、費用負担が増加するデメリットがあっても、元のコミバスより総合的に便利になったと感じるか？	<ul style="list-style-type: none"> 元のコミバスのサービスと比較した場合に満足度が向上したと回答した人が低下したと回答した人を上回ったかどうかを評価 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者アンケートでは「便利になった」という人がやや多いものの「不便になった」という人も存在 未利用者アンケートでは、利用しない理由として、他の移動手段がある以外に、電話予約に対するネガティブな反応が見て取れる
③ デマンド型乗合タクシーへの転換に伴う収支や行政負担の変化の見通しは市にとって許容可能な範囲か？	<ul style="list-style-type: none"> 既存のコミバスと一部をデマンド型乗合タクシーに本格的に転換した場合の収支や行政負担の変化を確認し、市にとって許容可能な範囲かどうかを評価 	<ul style="list-style-type: none"> 運行委託費はコミバスとして運行していた時と同じ（令和6年度以降、燃料費や人件費の高騰により上昇する可能性あり） 予約配車システムの利用料とコールセンターの運営委託費が付加される（令和6年度：合計約430万円／年、今回の実験に係る初期費用（約77万円）は令和5年度に計上済み）
④ 予約センターや運行事業者は無理なくスムーズに予約・配車等のオペレーションを実行できていたか？	<ul style="list-style-type: none"> 実証運行開始後一定期間が経過した後に、予約センターや運行事業者等にヒアリングを実施し評価 	<ul style="list-style-type: none"> 今のところ利用者がそれほど多くないため、予約受付・運行ともにオペレーションに問題なし 利用者がもう少し増えた際にも問題ないかを確認する必要あり

(2) 令和5年度年間収支見込み

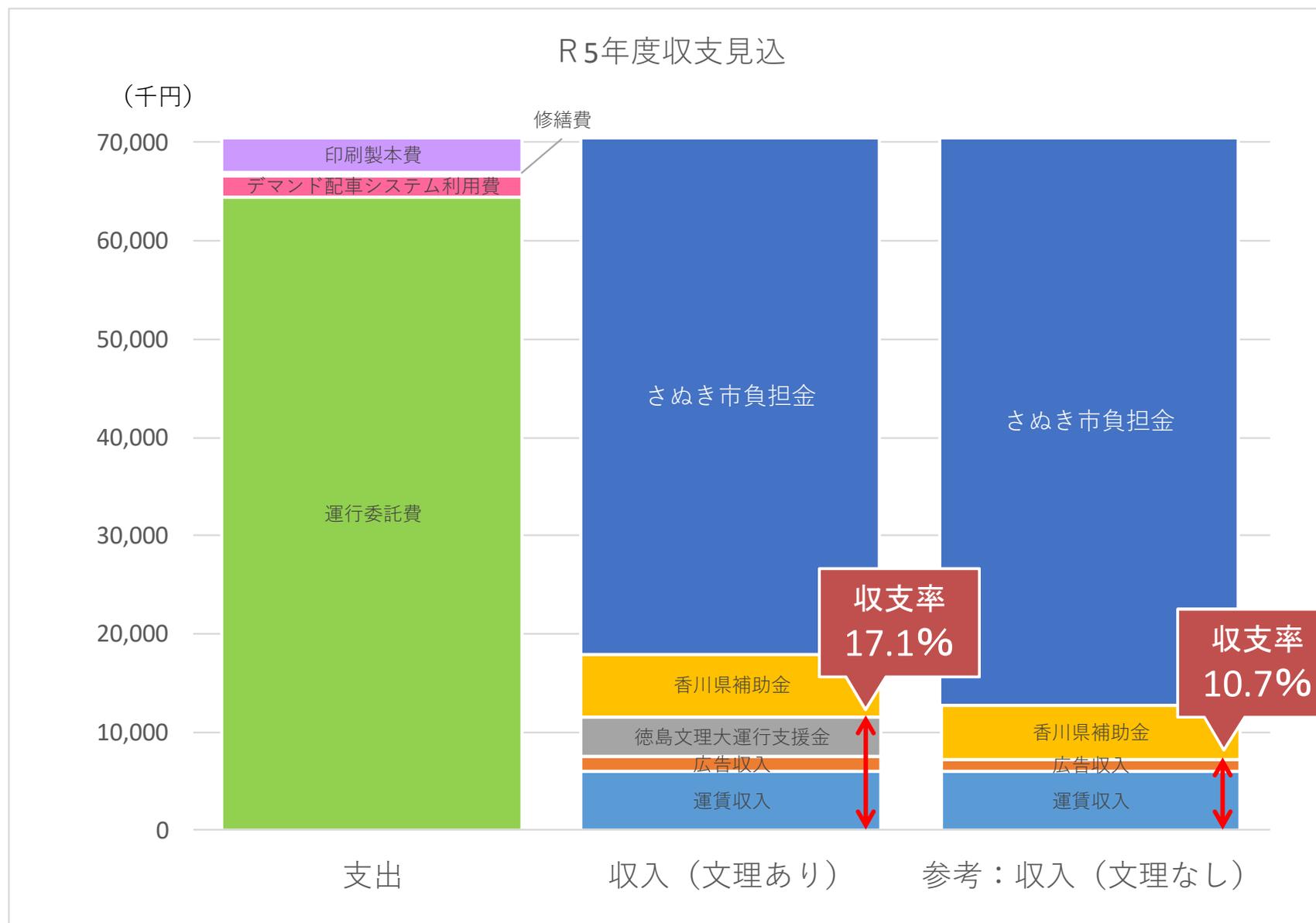
収入 A		運行費用 B ※運行直接経費のみ		収支 A-B	収支率 A/B×100	香川県 運行補助金 C	一般財源負担額 B-(A+C)
運賃	3,586	運行委託料	64,500	△55,805 千円	17.1%	6,455千円	49,350千円
回数乗車券 販売	2,426	修繕費 (標柱、標識)	283				
ラッピング	1,200	印刷製本費 (回数券・時刻表)	354				
窓枠広告	24	車両入替	0				
広告 車内設置	300	配車システム 利用料	2,204				
文理大 運行支援金	4,000						
計 (A)	11,536 千円	計 (B)	67,341 千円				
【参考】令和4年度実績							
計 (A)	11,098 千円	計 (B)	65,033 千円	△53,935 千円	17.1 %	6,032千円	47,903千円

※令和5年度運賃・回数乗車券販売：前年度実績を踏まえた見込分を含む

※配車システム利用料：初期設定費 + システム&コールセンター利用料（12～3月の4か月分）

※令和4年度利用者数（乗車人数）：71,242人（文理大関係者含む）

(3) 令和5年度年間収支率試算 (文理大運行支援金400万円と文理大ラッピング30万円の有無で試算)



(4) 直近の課題と対応方針

① ターゲットを絞った丁寧な周知活動の検討

【課題】

- ・まだ周知が十分ではなく、利用方法等がわからない人が多いと見られる
※デマンド交通は、定時定路線型に比べて仕組みや利用方法が複雑であるため、他地域の事例でも周知や利用が進むまでに時間を要することが多い
- ・デマンド専用乗降ポイントの利用実績が少ない
※デマンドタクシーを利用しない理由として「電話予約などを含め使い方がわからないから」「なんとなく不安だから」を挙げた方が複数存在

→主な利用者となる免許返納者や高齢者を対象に、福祉部門からの周知や、グループでの乗車体験会を実施する等、丁寧な周知活動を検討する

② 予約時間の変更

【課題】

- ・13時便の当日予約化への要望が多い

→コールセンター運営会社や運行事業者と協議し、13時便の当日予約化を検討する

(例) 13時便の予約〆切時刻：前日の16:00 → 当日の12:00

ただし、受付時間：12:00～16:00 → 11:30～15:30

今後の方向性

①利用促進活動の実施

- ・外出が増える春から初夏にかけて、集中的に利用促進活動を実施
取組例：デマンドタクシー専用乗降ポイント周辺の住民向け乗車体験
高齢者が集う場所への出前講座

②実験運行の継続・終了・他地域への拡充の判断

- ・令和6年の夏～秋頃（目安：8月頃）に再度、運行評価を実施
- ・今回の実験運行エリアを主な営業エリアとするタクシー事業者への影響を確認
- ・コミュニティバス・乗用タクシー・路線バスとの役割分担、及び、随時性をさらに高めたデマンド型運行への転換是非の確認（運行事業者、配車システム運営者）
- ・これらの結果等を踏まえ、令和7年度からの継続可否等を判断

③その他

- ・仮にコミバス（定時定路線型）に戻すことになったとしても、徳島文理大香川キャンパス移転（令和7年4月1日移転）による影響をどうカバーするかを考える必要あり

(参考) コミュニティバス利用者数 (令和4年度：令和4年4月～令和5年3月)

停留所名	①志度・造田・多和線	②志度・鴨部・小田線	③志度・鴨部・寒川循環線	④津田・大川・寒川線	⑤小田・津田・鶴羽線	⑥志度・鴨庄・興津線	⑦寒川・津田・志度線	多和線 デマンド	計
4月	806	477	1,856	363	334	518	2,860	6	7,220
5月	878	459	2,005	350	321	509	2,732	4	7,258
6月	697	479	2,255	380	339	574	3,338	27	8,089
7月	528	473	2,129	322	304	557	2,986	6	7,305
8月	568	333	585	355	312	313	827	6	3,299
9月	566	370	1,288	464	297	450	1,606	5	5,046
10月	774	483	1,979	443	353	475	2,486	25	7,018
11月	1,043	541	1,963	516	321	520	2,376	13	7,293
12月	598	482	1,727	379	316	535	1,883	4	5,924
1月	527	436	1,601	329	243	414	1,839	5	5,394
2月	504	338	739	306	272	329	913	3	3,404
3月	816	426	691	407	311	376	956	9	3,992
計	8,305	5,297	18,818	4,614	3,723	5,570	24,802	113	71,242
	71,242								

集計

※3月を除く 7,489 4,871 18,127 4,207 3,412 5,194 23,846 104 **67,250**

(参考) コミュニティバス利用者数 (令和5年度：令和5年4月～令和6年2月)

停留所名	①志度・造田・多和線	②志度・鴨部・小田線	③志度・鴨部・寒川循環線	④津田・大寒川・寒川線	⑤小田・津田・鶴羽線	⑥志度・鴨庄・興津線	⑦寒川・津田・志度線	多和線 デマンド	デマンド タクシー	計
4月	954	495	2,653	380	315	518	2,694	6		8,015
5月	957	513	2,515	440	316	617	2,837	4		8,199
6月	715	505	2,573	399	321	625	3,322	7		8,467
7月	551	506	2,293	322	354	622	3,201	6		7,855
8月	522	293	682	332	304	343	794	5		3,275
9月	567	492	1,303	334	314	423	1,876	3		5,312
10月	902	569	2,490	391	298	650	2,717	9		8,026
11月	1,240	486	2,204	485	282	581	2,447	12		7,737
12月	663	349	1,987	347	272	365	1,752	6	324	6,065
1月	552	312	1,777	291	212	285	1,657	4	329	5,419
2月	585	307	869	288	237	217	770	5	156	3,434
3月										0
計	8,208	4,827	21,346	4,009	3,225	5,246	24,067	67	809	71,804
	71,804 ※令和4年度同月実績(4月～2月合計)より +4,554人									